

【助産診断・技術学】

科目名	助産診断・技術学 I 妊娠期	講師名	① 教育主事 (15)	学年	1	履修期	第1学期							
単位	2単位		② 専任教員 (18)											
時間数	45時間		③ 岡山医療センター助産師 A (6) ④ 岡山医療センター助産師 B (6)											
講師実務経験	講師①助産師としての実務経験あり													
授業概要	妊娠期における助産過程の展開に必要な診断と技法および助産の実践に必要な基本技術を習得する。													
授業科目目標	1. 正常な妊娠経過を理解し、正常からの逸脱の予防と異常の早期発見、正常な妊娠経過を促進しスムーズに分娩期に移行するための知識と技術を習得できる。 2. ハイリスク症例に対して周産期を通じた適切な支援を行うための知識と技術を習得できる。													
授業内容	講師① 15時間 (試験 1H 含む) 第1～5回 1. 妊娠期の助産診断と助産過程の展開 (演習) 講師② 第6～7回 2. 妊産婦のフィジカルイグザミネーション (演習) 第8～9回 3. 妊婦の主体性を尊重した出産を支援するケア 講師① 第10回 4. 妊娠期の正常からの逸脱の診断とケア 講師② 第11～13回 5. ハイリスク妊娠のアセスメントとケア 講師① 第14回 6. 妊娠期の臨床推論 1) 妊娠期の症状と異常との鑑別 講師②③ 第15～16回 2) 妊婦健康診査シミュレーション 講師② 第17～18回 7. 心理・社会的問題をもつ妊産婦のケア 講師④ 第19回 8. 母乳育児支援 (演習) 1) 母乳育児支援についての基礎知識 2) 特別な支援を必要とするケース 第20～21回 3) 授乳支援の実際 講師②③ 第22回 妊婦健診 OSCE 終了試験 1H					講義 (事例演習)	演習	講義	講義	演習	演習	講義	講義・演習	技術試験
評価方法	1. 筆記試験 80点 (講師①②③ 70点、講師④ 10点) 2. 技術試験 20点 (妊婦健診 OSCE)													
テキスト	助産学講座 6 助産診断・技術学 I 妊娠期 医学書院 助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会													
参考書	母乳育児支援スタンダード第2版 NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 産科診療ガイドライン 2020													
学生へのメッセージ	本講義では、妊娠期から産褥期につながる知識と技術の習得を目指します。妊娠期の状態が必ずその後の分娩・産褥期の母児に影響を及ぼしますので、継続的な視点を持って学んでください。													